

2020年度 倫理委員会（第2回定例会）の議事録

場所：WEB 会議（各拠点から参加）（13：30～17：00）

参加者：井内祥人、勇秀忠、稲垣浩通、岩尾雄四郎、小柳嗣雄、佐藤光雄、清水富夫、
末松正典、永岩研一、西井康浩、堀田源治、松井法彦、諸藤明子

オブザーバー：岩見裕子（大分）、村岡馨（大分）、城戸美智子（熊本）、
河本理之（北九州）

欠席者：下津義博、

2020/09/12

報告書作成：井内 監修：西井

概要

(1) 意見交換

- ① 「九州版倫理テキスト作成タスクチーム」「県支部若手（新規）講師候補育成タスクチーム」及び「他地域本部との連携・交流タスクチーム」から、それぞれ報告がなされ意見交換を行った。
- ② 今回も ZOOM 会議で行い、会議後の情報交換会も充実したものになった。

(2) その他の審議事項

- ① 次回（第3回）研究事例発表については、「地球環境問題（奄美大島における動物の権利訴訟（原告側）」を末松委員より報告していただく。第4回定例会において「奄美大島における動物の権利訴訟（被告側：当事者）」を井内副委員長より報告いただく。
- ② 新規倫理委員の候補者として、新たに熊本県支部から城戸氏、北九州地区より河本氏の紹介があり、WEB 会議にも参加された。

1. タイムライン（スケジュール）

2020年度第3回定例会は11月7日（土）に開催、今回と同じWEB 会議とする。

2. 九州版倫理テキストにおける事例研究（事例3 その2）

今回発表「（続）公共事業の入札における課題」を永岩委員より解説があり、全員で意見交換を行った。

(1) 永岩委員発表「（続）公共事業の入札における課題」

①前回の復習

「公共事業」「談合」「入札制度」について再確認

②（事例1：橋梁談合事件）

- 2005年に発覚した鋼鉄製橋梁の建設工事（公共工事）の受注に絡んで、橋梁メーカーの入札談合における独占禁止法違反容疑の事件
- 談合組織に属する47社は、国土交通省整備局が2000年度から2004年度にかけて発注された工事の約8割を談合で受注し、安値落札を排除していた。

③（事例2：名古屋市営地下鉄工事入札結果）

- 2006年、名古屋市営地下鉄工事の5工区発注工事において、JV（大手・準大手）による落札率が、

92%から99%となり談合の疑いがもたれている。名古屋地方検察庁特捜部が捜査中（？）

④（事例3：宮崎県官製談合事件）

- 宮崎県橋梁設計発注業務において、県幹部が特定の測量会社へ落札させようとした談合した疑い。
- 結果として、安藤知事、元出納長など4人が逮捕され、起訴された。

⑤（事例4：武蔵野市まちづくり条例検討委員会）

- 当該委員会に利害関係者の一人が委員として任命されていた事案

【Web会議での意見】

- ▲ 談合は暗黙の了解であり、悪ではない。
- ▲ 製造業でも同様であるが、「談合は悪でない」という言葉が独り歩きされると困る。
- ▲ 倫理委員会としては「談合は悪である」と言い切る必要がある。
- ▲ 公衆の利益は公衆の安全と同等である。
- ▲ 一般競争入札において、技術力の低い会社が落札し、建設されたものが、本当に公共のためになっているのか疑問。
- ▲ 地元の建設業者の役割を、悪いところしかマスコミは報じない。災害応援など公衆の知らないところで、相当、貢献している。
- ▲ 工区割（発注分割）は、地元業者育成のためにも必要である。
- ▲ 日本に根付いてきた文化であり、良い面、悪い面が混在しており、整理する必要がある。
- ▲ 経済対策として、公共事業は景気を良くする手段の一つである。
- ▲ 国民の税金を国民（建設業者等）に還元するということと「国土保全」という大義名分がリンクしていない。
- ▲ 技術者倫理だけでは限界があり、発注者が「公務員のモラル」受注者が「企業コンプライアンス」を遵守することが必要ではないか。
- 日本産業界としては経済がグローバル化するなかで、世界標準規格 ISO、IEC、ITU の取入が進んできた。これらの世界標準規格の原則は、透明性・開放性・公平性とコンセンサス・有効性と市場適合性・一貫性・開発途上国への配慮である。日本技術士会の九州本部倫理委員会が談合という公衆への透明性のないプロセスを容認することは、国際的なエンジニアの倫理の観点からも厳しいと推定される。

（2）会務報告と意見交換

①「九州版テキスト作成タスクチーム」からの報告：井内副委員長

- 配布資料（画面）に説明
 - ・「著作権」について説明（委員全員の共通認識を図る）
 - ・ J R R C（公益社団法人日本複製権センター）の概要説明

「引用」と「複製（コピー）」の違い等
引用記載例

- ・日本技術士統括本部倫理委員会について問い合わせるが、回答なし。
- ・今後のスケジュール

【Web 会議での意見】

- ・倫理委員会については、引き続き問い合わせる。
- ・スケジュールに従い、作業を進める。

②「講師育成タスクチーム」からの報告：佐藤委員

- 配布資料（画面）において説明
 - ・ミッションの目的
 - ・達成の方法
 - ・おおよそのスケジュール
 - ・メールによるメンバーの意見徴収

【Web 会議での意見】

- ・講師希望年齢については、48 歳から 53 歳までで検討しているが、技術者倫理には経験とともに人生観も大切であるので、若手に括る必要はない。
- ・技術士は文部科学省の所管であるので、学校授業でも取り上げてもらえるよう、活動する必要がある。

③「他地域本部との連携・交流タスクチーム」からの報告：末松委員

- 配布資料（画面）において説明
 - ・統括本部倫理委員会と技術者倫理研究会と違いを説明
 - ・技術者倫理研究会「web による技術者倫理研究会運営方式の変更（案）」への意見説明
 - ・来年度から適用予定

【Web 会議での意見】

- ・参加料金は中国本部の動向を調査し、当委員会の意見として取り上げる。

(3) その他

- 「技術士倫理綱領の改定方向性に関する意見募集」について、3 委員の意見を付したペーパーを提出した。
 - ・意見内容の説明

今後の事例研究案

No.	事例研究の課題	事例の分類	担当	発表日
1	新幹線台車亀裂事故	予防倫理	井内	2019/2/9
	(続) 新幹線台車亀裂事故			2019/6/29
2	化血研究所偽装事件	予防倫理	小柳、勇	2019/9/21
	(続) 化血研究所偽装事件		勇	2019/11/30
3	巨大 M グループの成功事例と失敗事例	予防倫理 志向倫理	清水	2021 年度第 1 回予定
4	公共事業の入札における課題	予防倫理	稲垣、永岩	2020/2/1 2020/9/5
5	技術者倫理の教育	志向倫理	佐藤、堀田	事前調査の依頼
6	データ改竄への対応	予防倫理	下津	事前調査の依頼
7	地球環境問題（奄美大島における動物の権利訴訟）	志向倫理	末松、井内	2020/11/7（予定） 第 3 回 2021/2/6（予定） 第 4 回で予定
8	研究不正	予防倫理	堀田、岩尾	事前調査の依頼
9	技術士のアイデンティティー	志向倫理	西井	
10	PL 裁判事例	予防倫理	小柳、末松	
11	ある電力技術者の生きざま	志向倫理	井内	

上記のスケジュールで、担当者は準備を進めて頂きたい。

回覧および承認

今回は全員に承諾をお願いしております。

名前	役職	日付
井内 祥人	副委員長	9月 13日
勇 秀忠	委員	9月 16日
稲垣 浩通	委員	9月 16日
岩尾 雄四郎	委員	月 日
小柳 嗣雄	副委員長	9月 16日
佐藤 光雄	委員	9月 15日
清水 富夫	委員	9月 17日
下津 義博	委員	月 日
末松 正典	委員	11月 18日
永岩 研一	委員	9月 16日
西井 康浩	委員長	9月 13日
堀田 源治	委員	9月 23日
松井 法彦	委員	9月 16日
諸藤 明子	委員	9月 16日

最終承認者 委員長
西井康浩

日付
9月 23日